

# ～子供たちの未来のために～

## 嵐山町教育委員会における

### 嵐山町立小・中学校再編整備に関する基本的な考え方

嵐山町立小中学校再編についての嵐山町教育委員会の基本的な考え方の「1. 答申を受けて目指す学校像」から「6. 備考」の(1)までをこれまでの広報紙面にてお知らせしました。今月は「6. 備考」(2)(3)をお知らせします。

#### 嵐山町が目指す小学校・中学校像

##### 6 備考 (2)小中一貫教育の推進について

- ①一般的に、すべての教科を担当が担当する小学校から、教科担任制の中学校に進学するにあたり、不登校・いじめ・暴力行為などの生徒指導上の課題や学習面での段差(いわゆる中1ギャップ)を多くの生徒が感じます。これらを、可能な限り解消し小学校から中学校への円滑な接続を目指します。
- ②小中一貫教育校として、小・中学校の教員が協力して9年間を見通した教育課程の編成・実施に努めます。
- ③コミュニティ・スクールは学校と地域をつなぐ架け橋であり、小中一貫教育は児童生徒・教職員をつなぐ架け橋であります。いずれも児童生徒に多様な者との関わりを持たせる願いがあります。新しい小・中学校は、コミュニティ・スクールと小中一貫教育を一体的に推進することにより、地域全体で子供たちを育てるための核となる施設とします。
- ④小学校のリーダーである最高学年を経験できるという特性を生かし、小学校6年生の段階で大きな成長を促す指導を充実させます。
- ⑤気持ちを新たに中学校の校舎で生活をスタートできる喜びや憧れの気持ち・期待感を強く持たせるよう配慮します。

##### (3)整備に当たっての配慮事項

- 経費節減→菅谷小学校のプール、菅谷中学校の体育館は、統合後も活用します。
- これからの教育(「個別最適な学び」「協働的な学び」)を支える学校施設とします。→ICT環境を整え、フレキシブルに活用できる学習空間を創造します。
- 人権に配慮した学校施設とします。→LGBTQ等の人権に配慮した施設設備とします。
- 町で唯一の義務教育施設として統合のメリットを生かす「交流環境」を創造します。
- 多様な教育的ニーズのある児童生徒への対応を可能とする施設とします。→バリアフリー化を進め、インクルーシブ教育システムの構築や合理的配慮の基礎となる環境整備をします。
- 子供たちと地域を守る「安心・安全な学校」とします。→誰でも利用しやすい施設や地域の防災拠点としての機能を有する施設とします。
- 「エコスクール」を目指します。→「ゼロカーボンシティ宣言」をした町の教育施設にふさわしい環境にやさしい施設とします。

##### ※その他

- 学童保育については、嵐山町小中学校再編プロジェクトチームで検討を進めていきます。

※「嵐山町教育委員会における嵐山町立小・中学校の再編整備に関する基本的な考え方」は、町ホームページにて全体を閲覧できます。



町ホームページ  
はこちらから

学校再編に関してご意見ご質問などのある方は、町ホームページ内「町政のご意見箱」、役場、図書館、ふれあい交流センター、生き生きふれあいプラザやすらぎ、B&G海洋センターに設置されている「町民の声ボックス」へお願いします。  
問教育総務課 Tel 0493-62-0823

#### 広報紙で

### 言いたいこと、言っちゃおう

問地域支援課 Tel 0493-62-2152

広報紙では子供達の意見や思いを発表する場を設けることを目的に、毎月アンケートを実施することになりました。今月は小学校5年生を対象に「こんな学校だったら楽しいな」をテーマに意見を募集しました。子供達からの意見の一部をご紹介します。

多かった意見  
ベスト3

週に1回バイキング  
自分で選ぶのは  
楽しそうですね

- 01 | 行事について 28件
- 02 | 給食について 17件
- 03 | みんなで仲良く 14件

1～6年生と一緒に  
旅行にいきたい  
とても楽しい行事に  
なりそうですね。

他学年と仲良くなるために  
一緒に授業をする  
他の学年と仲良くしたい  
子も多いようです。

町ホームページでは紙面で紹介できなかった他の意見も紹介しています。ぜひご覧ください。



#### PICK UP

### 小学生による 笑顔いっぱい田植え体験

問教育総務課 Tel 0493-62-0823

菅谷小学校、七郷小学校、志賀小学校の5年生が、農業体験学習の一環として、町内の田んぼで田植えを体験しました。

七郷小学校、志賀小学校の児童たちは、ため池を利用した谷津田で、日本農業遺産に認定された伝統的なため池農法について学びました。

児童たちは田んぼに入り、慣れない泥の感触を楽しみながら、笑顔で田植えを行いました。



### 嵐丸塾レポート

#### VOL. 4



問農政課 Tel 0493-59-6671

嵐山町では、これから農家を目指す方を資金確保・農地確保・技術指導などで支援する農業塾「嵐丸塾」を開校しています。令和5年度は、新たに2名が卒塾しました。嵐山町では、合計4名の嵐丸塾の卒塾生が就農し、日々努力を続けています。



3月下旬に種を蒔いたほうれん草を卒塾生が4月下旬に収穫している様子。



直売所で出荷をする花の苗を卒塾生が育てています▶

収穫された美味しいほうれん草と大事に育てられたお花の苗は、しっかりと品質チェックを行った後、嵐山農産物直売所に並びます。ぜひ、足を運んでみてください。

### 新型コロナウイルスワクチン関連情報

問健康いきいき課 Tel 0493-59-6911

#### ●新型コロナウイルスワクチン令和5年春開始接種は8月31日(木)まで

現在、新型コロナウイルスワクチンの追加接種を行っています。接種を希望される対象者の方は予約のうえ接種を受けてください。なお、接種は強制ではありません。

接種の内容は広報5月号、6月号、町ホームページ等でご確認ください。

またこの度、国からの追加供給を受け、ファイザー社製ワクチンの接種が可能となりました。



9月以降に予定の秋開始接種について▶詳細が分かり次第、広報や町ホームページ等でお知らせします。